

報道関係各位

「茶育」プロジェクトによるお茶体験を、より多くの子どもたちへ。**～株式会社伊藤園が、「茶育」の取組の一環として、
小中学校に急須を提供～**

農林水産省が取り組む、お茶の食育「茶育」プロジェクトに参加している株式会社伊藤園から、茶育を実施した小・中学校を対象に急須を提供していただきます。

1. 「茶育」プロジェクトとは

農林水産省は、茶の消費量が長期的に減少する中、子どもの頃から茶に親しむ習慣を育むため、学校教育の場での茶を活用した食育（茶育）を推進する「茶業関係者×農林水産省『茶育』プロジェクト」を令和5年1月から実施しています。

具体的には、小・中学校向けの茶育に取り組んでいる茶業関係者から応募を募り、茶の淹れ方体験や茶の植樹・摘採、茶製造工場見学等、各地域で提供可能な茶育の取組をリスト化して農林水産省のHP等で情報発信し、学校関係者に共有することで、茶育の実施を希望する小・中学校関係者とマッチングを図り、茶育の取組を推進しています。

※「茶育」プロジェクトについて：[お茶のページ：農林水産省 \(maff.go.jp\)](https://maff.go.jp)

（小学校における茶育の取組事例）茶の植樹から収穫、手揉みまで体験



2. 急須の提供について

「茶育」プロジェクトに参加する茶業関係者の一つである株式会社伊藤園から、このプロジェクトを活用して茶育を実施した小・中学校における茶育の定着・拡大に資するため、急須を提供していただきます。

提供される急須の数は、10月1日の「日本茶の日」に株式会社伊藤園が開催する日本茶の消費拡大イベント『10万杯チャレンジ』の中で、消費者が試飲する日本茶の杯数に応じて決定されます。

※株式会社伊藤園プレスリリース

[「日本茶の日 お〜いお茶大茶会」を、10月1日（日）に全国47都道府県で開催 | 伊藤園 企業情報サイト \(itoen.co.jp\)](#) (外部リンク)

3. 添付資料

別添 お茶の食育「茶育」に取り組んでみませんか！（茶育チラシ）



お問合せ先

農産局果樹・茶グループ

担当：皿谷、仁久丸、藤村

電話：03-3502-8111（内線 4794）

ダイヤルイン：03-6744-2194

お茶の食育「茶育」に取り組んでみませんか！

「茶業関係者×農林水産省『茶育』プロジェクト」とは？

お茶の収穫や手揉み体験、製茶工場見学、お茶の淹れ方講座などの茶育の取組を提供可能な茶業関係者を募集し、

- ① 応募のあった取組内容等を一覧にして農林水産省のウェブサイトへ掲載
- ② 学校関係者の皆様向けに情報提供
することで、茶育の取組を推進します。

茶育の取組事例

◆茶の植樹から収穫、手揉みまで体験
(宮城県・小学生)



◆地元の茶業青年団から茶の淹れ方を学ぶ
(静岡県・小学生)



◆製茶工場にて茶の製造工程を見学 (静岡県・小学生)



取組一覧



お茶産地以外の地域の皆様にも、出前講座や工場見学など
様々な「茶育」メニューが用意されています。
ぜひ、ご確認ください！



随時更新 ※ 条件の合致する茶業関係者に直接連絡をお取りください。

＜茶育推進の背景＞

茶は、日本人の生活と文化になくてはならないものであり、また中山間地域等における基幹作物として、地域経済に重要な役割を担っていますが、その消費量は長期的に減少しており、特に若い世代で顕著です。こうした中、子どもの頃から茶に親しむ習慣を育むことで、茶の文化の普及につなげようと、様々な取組を行う茶業関係者もいますが、その活動について十分に認知されていない状況にあります。

このため、当省では、令和5年から新たに「茶業関係者×農林水産省『茶育』プロジェクト」を実施しています。